

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

医療法人秀峰会が運営する介護老人保険施設「南面」と認知症デイケア施設「佳境」の既存照明設備から LED 照明設備へ更新による CO2 削減事業

排出削減事業者名：

医療法人 秀峰会

排出削減事業共同実施者名：

一般社団法人 低炭素投資促進機構

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	医療法人 秀峰会
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	介護老人保険施設「南面」
住所	〒343-0851 埼玉県越谷市七左 4-161
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

医療法人秀峰会が運営する介護老人保険施設「南面」と認知症デイケア施設「佳境」の既存照明設備から LED 照明設備へ更新による CO<sub>2</sub> 削減事業

### 2.2 排出削減事業の目的

医療法人秀峰会が運営する介護老人保険施設「南面」と認知症デイケア施設「佳境」の既存照明設備から LED 照明設備へ更新することにより、省エネルギー推進及び環境負荷低減を図ることを目的とする。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

高効率照明設備への更新

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

該当なし

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2013年2月28日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ～ 2015年3月31日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
006	照明設備の更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
(方法論 006) 電力使用量	照明設備稼働時間 (h)	照明設備定格電力(kW)

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

排出削減方法論において次のように指定されているため、それに従って照明設備稼働時間を採用した。

「事業実施前及び実施後の活動量には、照明設備のエネルギー使用量に最も影響を与える活動量として照明設備稼働時間を採用する。照明設備稼働時間とは、照明設備を使用している時間帯のことであり、全点灯時間のほかに、人感・昼光センサー、タイマー制御、個別スイッチによる間欠的な消灯時間や調光点灯時間を合わせた合計時間を指す。

照明設備稼働時間＝全点灯時間＋調光点灯時間＋間欠消灯時間」

※ここでは、調光点灯時間、間欠消灯時間はないため、各施設における全点灯時間のみとする。

#### 4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、具体的には次の範囲である。

- ・介護老人保険施設「南面」
- ・認知症専門デイケア施設「佳境」

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由
$CO_2F_{electricity,t}$	電力の二酸化炭素 排出係数	t-CO <sub>2</sub> / kWh	0.000569( $C_{mo}$ ) 0.000554( $C_a(t)$ )  2013年4月1日 ～ 2014年2月27日 0.000569  2014年2月28日 ～ 2015年3月31日 0.000562	デフォルト値 $CO_2F_{electricity,t} = C_{mo} \cdot (1-f(t)) + C_a(t) \cdot f(t)$  t: 電力需要変化以降の時間(事業開始日以降の経過年)  C <sub>mo</sub> : 限界電源二酸化炭素排出係数(0.000569)  C <sub>a</sub> (t): t年に対応する全電源二酸化炭素排出係数(0.000554)  f(t): 移行関数 $f(t) = \begin{cases} 0 & [0 \leq t < 1 \text{ 年}] \\ 0.5 & [1 \text{ 年} \leq t < 2.5 \text{ 年}] \\ 1 & [2.5 \text{ 年} \leq t] \end{cases}$	紙媒体
$R_{BL006}$	事業実施前の電力 使用量の原単位	kW	72.392	カタログ値	紙媒体
$T_{PJ006}$	事業実施後の活動 量	h	南面: 1,790,341 佳境: 386,475	就業規則、照明点灯ルール表、消灯管理 記録	紙媒体
$R_{PJ006}$	事業実施後の電力 使用量の原単位	kW	26.016	カタログ値	紙媒体

## 6 排出削減量の計算

### 6.1 事業実施後排出量 (2013年4月1日～2014年2月27日)

事業所名	活動量	排出係数	CO2 排出量
南面	71.322 (千 kWh)	0.569(tCO2/千 kWh)	40.58 (tCO2)
佳境	25.382 (千 kWh)	0.569(tCO2/千 kWh)	14.44 (tCO2)
EM <sub>PJ</sub>			55.02(tCO2)

### 事業実施後排出量 (2014年2月28日～2015年3月31日)

事業所名	活動量	排出係数	CO2 排出量
南面	85.000 (千 kWh)	0.562(tCO2/千 kWh)	47.77 (tCO2)
佳境	30.336 (千 kWh)	0.562(tCO2/千 kWh)	17.05 (tCO2)
EM <sub>PJ</sub>			64.82(tCO2)

### 6.2 ベースライン排出量(2013年4月1日～2014年2月27日)

事業所名	活動量	排出係数	CO2 排出量
南面	188.557 (千 kWh)	0.569(tCO2/千 kWh)	107.29 (tCO2)
佳境	73.509 (千 kWh)	0.569(tCO2/千 kWh)	41.83 (tCO2)
EM <sub>BL</sub>			149.12(tCO2)

### ベースライン排出量 (2014年2月28日～2015年3月31日)

事業所名	活動量	排出係数	CO2 排出量
南面	224.709 (千 kWh)	0.562(tCO2/千 kWh)	126.29 (tCO2)
佳境	87.904 (千 kWh)	0.562(tCO2/千 kWh)	49.40 (tCO2)
EM <sub>BL</sub>			175.69(tCO2)

### 6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
南面			0(tCO2)
佳境			0(tCO2)
LE			0(tCO2)

### 6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	南面	佳境	合計
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	107.29 (tCO2)	41.83 (tCO2)	149.12

	<i>EM<sub>BL</sub></i>	126.29 (tCO <sub>2</sub> )	49.40 (tCO <sub>2</sub> )	175.69
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EM<sub>PJ</sub></i>	40.58 (tCO <sub>2</sub> )	14.44 (tCO <sub>2</sub> )	55.02
	<i>EM<sub>PJ</sub></i>	47.77 (tCO <sub>2</sub> )	17.05 (tCO <sub>2</sub> )	64.82
リーケージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0 (tCO <sub>2</sub> )	0 (tCO <sub>2</sub> )	
<b>温室効果ガス排出削減量</b>	<b><i>ER</i></b>	145 (tCO <sub>2</sub> )	59 (tCO <sub>2</sub> )	204(tCO <sub>2</sub> )

## 7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン(①)	実績(②)	ベースライン-実績(①-②)
147.8	54.5	93.3

## ・8 再生可能エネルギー利用量

該当なし